



# 学校だより

～創立133周年～

## 「好きこそものの上手なれ」を超えるものは

校長 大塚 雅之

2学期がスタートしました。夏休み中、長雨や酷暑、不安定な天候が続き、コロナ禍で制限が多い中で長期の休みとなりましたが、有意義な日々が過ごせたでしょうか。この長期の休みを生かし、様々なことにチャレンジして、好きなことや得意なことが増えましたか。

さて、「あなたの好きなことは何ですか」と聞かれたらどのように答えますか。きっと幅広く、たくさんの方が思い浮かぶのではないのでしょうか。では、「得意なことは何ですか」と聞かれたら何と答えますか。いくつでも構いませんので思い浮かべてみてください。そして、付け加えますが、その得意なことは好きなことですか。

「好きこそものの上手なれ」ということわざがあります。好きで興味をもてればこそ、熱中して努力するので、だんだん上達してうまくなるということです。つまり、「好きなことは上達しやすい」ということです。皆さんはどうでしょうか。

ここで、次の事象の相関について考えてみましょう。

**A：好き&得意 B：好きではない&得意 C：好き&苦手 D：好きではない&苦手**

上達しやすいのはAであることは言うまでもありませんが、Cも希望がもてます。この先だんだん上達することも期待できます。Dについては、何らかのきっかけで多少なりとも改善できるチャンスはあると思います。しかしながら、Bはどうでしょうか。このままでは上達どころか、維持することもままならない予感がします。せっかくの得意なことを無駄にしてしまう可能性があります。ここに何か別の要素が加われば大きく変化するかもしれません。

例えば、得意なことでも苦手なことでも、自分自身が、好きでもなく、興味もなく、ただ何となくやっているということ、または強制的にやらされているということだけが意識の中で強くなってしまったり、その先にある明るい希望がかすんでしまうように思います。目標の達成に及ばず、または目標を達成した時点でその先の目標を失い、そこから離れてしまうという事例もあります。ですから、このようなケースでは、目標や希望がもてるようにすることです。そのためには、周囲のフォローやサポートも必要になります。お互いにコミュニケーションを図り、感謝の気持ちを大切にしながら次へのステップとしていくことです。

最も価値ある要素は、その過程の中に「楽しい」という感覚があることではないかと自分は思っています。楽しく取り組んでいると、心地よく、そしていつしか好きになっていたり、知らず知らずのうちに得意になっていたりするかもしれません。子どもたちがこうした思いをもって学校生活を送り、成長していけるよう、教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。

新学期を迎え、「緊急事態宣言」の期間延長や残暑に伴い、感染症対策及び熱中症対策を講じながら、安全・安心を前提とし、充実した学校生活が送れるように努めてまいります。制限のある生活はまだまだ続きそうです。学校行事等も従来のように実施するのは難しく、目的や感染拡大防止の観点を踏まえながら進めてまいります。急な変更や中止もあり得ますが、保護者、地域の皆様、御理解と御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。